

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		昭和46年度以前		根拠法令・別規等 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律
事業開始年度				
総合計画	大項目	基本目標	04	
計画	中項目	基本施策	01	豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	01	農業
事務事業名		16	猟政事業	問 担当課(室) 農林水産課 職・氏名 管理係長 大道健一 電 話 0869-64-1831

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	備前市内で農作物等を栽培している農家及び全ての人。
目 的 (何のために)	鳥獣による農林水産物及び人畜に被害のある場合に駆除する。
行政活動 (どのような方法で)	地元要望により、駆除班に依頼。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	鳥獣害のないまちづくりを目指す。

事業の実績					
活 動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	鳥獣捕獲許可件数	頭・羽	3,261	3,102	3,465
	鳥獣捕獲数	頭・羽	832	490	411
実 績	直接事業費	千円	2,398	1,971	1,905
	必要人員	人	0.47人	0.23人	0.34人
財 源	事業費	千円	6,152	3,929	4,813
	国 支 出 金	千円	370	346	387
	受 益 者 負 担 金	千円	7	7	3
	市 入 金	千円			
	そ の 他 ()	千円			
	一 般 財 源	千円	5,775	3,576	4,423
受 益 者 負 担 比 率		%	0.1%	0.2%	0.1%

結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	鳥獣捕獲許可件数	頭・羽	3,261	3,102	3,465
	対 前 年 比	%	95.1%	111.7%	
	活 動 コ ス ト	円	6,152,000	3,929,000	1,905
	単 位 当 た り コ ス ト	円	1,887	1,267	1
結果指標②	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	鳥獣捕獲数	頭・羽	832	490	411
	対 前 年 比	%	58.9%	83.9%	
	活 動 コ ス ト	円	6,152,000	3,929,000	1,905
	単 位 当 た り コ ス ト	円	7,394	8,018	5

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
	目標値 (A)	3261	3102	3465	100
	実績値 (B)	832	490	411	到達目標年度
達成率 (B/A)		25.5%	15.8%	11.9%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
補修箇所数/補修必要箇所数					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明 農家及び住民から駆除依頼がある	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	判定理由・課題認識
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②			成果指標量	
		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
状況			○			
説明	有害鳥獣により被害があるため、引き続き事業実施する。					

総合評価		評価区分<A~E>
年度により有害鳥獣の捕獲率にばらつきがあるが、野生動物が対象になるのでやむを得ない部分もある。農作物・人的・物的被害が少しでも減少し、駆除依頼件数が減少すればよいと判断する。また、駆除班の高齢化が進んでおり後継者の育成も今後必要になっていくと思われる。		妥当性 A C E 有効性 B 効率性

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	鹿等が車両と衝突し車両の被害も多々報告されており、最悪死亡事故につながる恐れもあるため、引き続き実施していく。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		